

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	タツタ電線(株)大阪地区 生産事務所	階数	地上2F
建設地	大阪府東大阪市岩田町2丁目270番	構造	S造
用途地域	工業地域、22条区域	平均居住人員	110 人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,860 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2016年6月10日
敷地面積	118,064 m ²	作成者	宮坂 友輔
建築面積	2,094 m ²	確認日	2016年6月10日
延床面積	3,257 m ²	確認者	谷 定嗣



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	92%
③上記+②以外の	92%
④上記+	92%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

音環境	2.6
温熱環境	1.7
光・視環境	2.7
空気質環境	3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	2.9
耐用性	3.0
対応性	3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性	2.5

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.5
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.3
地域環境	3.5
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 東大阪に計画される事務所である。高効率な設備システムを導入し、節水器具の採用や工水の利用等、配慮した建物計画としている。		-
Q1 室内環境 ・全ての内装材F☆☆☆☆の材料を使用。	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い内装材、配管材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。 ・リフレッシュスペースを計画する等、居住者の快適性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・燃焼設備を設けず、周辺の暑熱環境緩和に配慮している。
LR1 エネルギー ・断熱性の高い材料を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。 ・高効率な設備システムを導入し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	LR2 資源・マテリアル ・節水器具を積極的に採用し、水資源の保護に配慮している。 ・工水を利用し、上水使用量削減に配慮する。	LR3 敷地外環境 ・駐輪場・駐車場の計画は利便性、交通渋滞緩和に配慮している。 ・屋外照明の計画は、周囲への漏れ光に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0049

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	タツタ電線(株)大阪地区 生産事務所棟及び厚生棟					
	建設地	大阪府東大阪市岩田町2丁目270番1他					
	用途/区分	事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
	CO2削減					3	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.3	3	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体 2.0 住戸・宿泊	3
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.5	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				